

★各種目の特徴★

～ボールルーム～

ボールルーム5種目は全て起源や特徴が違います。選手によっても得手不得手があります。以下参考にしつつご覧ください。

・**ワルツ**：舞台芸術のバレエから派生したダンス。雄大な動きと繊細な感性が織りなす美しいハーモニーです。大きなスイングとライズ・アンド・フォールがあります。ボールルームダンスが表現しようとする要素が一番盛り込まれていて見ごたえがあります。

・**タンゴ**：アルゼンチンのブエノスアイレスが発祥の地ですが、ラテン部門ではなくボールルーム部門に分類されます。シャープで歯切れの良いタンゴは、コンパクトで端正なホールド、力強いレッグ・アクション、情熱的なアタック・ムーブメントによって、ドラマチックに表現されます。ラテンダンサーにとってタンゴは踊りやすいようです。

・**ヴェニーズワルツ**：クルクルと回転しながらフロアを舞うウイナー・ワルツです。競技ダンスのうちで最も古いダンスですが、このダンスだけはバリエーションをつくらないように協定され、昔から踊り継がれている5つのステップだけをだけを使用するようになっています。

・**スローフォックストロット**：現在踊られるフォックストロットは映画でも有名なカッセル夫妻の「カッセルウォーク」がブームの起源です。ジャズに乗って悠揚に踊られるフォックストロットのムーブメントは、柔軟な膝とやわらかい足首の動き、そしてリズムカルなボディ・スイングから生まれます。フォックストロットで特に重要なのは、緩やかなスピード感を、上手にダンスの流れに生かすことです。

・**クイックステップ**：アメリカのチャールストンという街で、黒人によって踊り始められた「チャールストン」ブームに由来します。両膝をつけたまま足を激しく外側に跳ね上げるのが特徴的なチャールストンは、ジャズの狂操とともに瞬く間にアメリカ各地に浸透してゆき、ヨーロッパにも伝わりました。「跳んだり、跳ねたり」のイメージが強いのですが、スピーディーな動きに加えて、優雅さが要求されます。